昭和35年11月28日第3種郵便物認可

平成29年（2017年）　第2080号

危険な状況を安全に体験!!

可搬型ドライブシミュレーター
シミュレータ機能搭載可搬型運転操作検査器
ドライバーの安全指導に！
東海電子株式会社
東京事業所 TEL.042-526-0905

Japan Trucking Association

広報 とらっく

創刊 昭和28（1953）年2月

3月1日号

発行所 公益社団法人 全日本トラック協会
〒160-0004 東京都新宿区四谷三丁目2番5
全日本トラック総合会館
☎（03）3354-1029（総務部広報室）
http://www.jta.or.jp
※紙面に関する問い合わせは広報室まで
（会員の購読料は会費に含みます）

News Headline

主な紙面内容

2・3 ・トラック協会ニュース
・官公庁ニュース（国交省等）

4 ・準中型免許制度特集 3月12日からスタート

5 ・平成29年度ドライバー等安全教育訓練促進助成事業

6 ・交通事故防止!!わが社の取り組み ㈲吉部運送（山口県）

7 ・物流経営士研修会を開催

8 ・モノはこうして運ばれる「雪輸送」 ㈱村山興業（新潟県）

排雪作業に取り組んでいるロータリー車㊧と同社のダンプ車

今号に掲載した記事の関連資料と関連HPへは全ト協HPバナーからアクセスできます。
▼全ト協会員専用ページのパスワード▼
2/15~3/14 9855
3/15~4/14 3516

全ト協

平成28年度青年部会全国大会を開催

「ともに歩もう　新しい未来へ」テーマに

ヒューマンネットワーク構築による業界の発展目指す

全日本トラック協会青年部会（山本明徹部会長）は2月24日、東京都新宿区の京王プラザホテルにて、平成28年度全国大会を開催した。「ともに歩もう　新しい未来へ」をテーマに、全国から約730人の部会員が参加。パネルディスカッションなどの研修を通じ、トラック運送業界の次代の担い手たちが、互いに研鑽・交流する場となった。

星野　良三
全ト協会長

山本　明徹
青年部会長

第1部の研修会では、山本部会長が「ヒューマンネットワークを広げ、部会活動をますます活性化させることで業界の発展に繋げたい」とあいさつ。

続いて、星野良三全ト協会長が「生産性の向上など、取り組むべき課題が山積するトラック運送業界において、若い皆様の力に大いに期待している」と述べ、部会員を激励した。

自由民主党の鈴木馨祐青年局長と、国土交通省自動車局の加藤進貨物課長による来賓あいさつの後、「青年経営者等による先進的な事業取組に対する顕彰」の授与式を開催。金賞を受賞した東京都トラック協会足立支部青年部、銀賞を受賞した群馬県トラック協会青年部会、銅賞を受賞した石川県トラック協会青年部会、㈲山藤運輸（宮城県）、川崎陸送㈱（東京都）に対して、表彰状ならびに顕彰金（目録）が授与された。審査委員長を務めた杉山雅洋早稲田大学名誉教授が講評を述べた後、受賞者を代表し、金賞を受賞した東京都ト協足立支部青年部と、銀賞を受賞した群馬県ト協青年部会が事業発表を行った。

次に行われた「高等学校への車両寄贈式」では、全国自動車教育研究会の安部幹也理事（福岡県希望が丘高等学校自動車科長）に山本明徹部会長がレプリカキーを贈呈。さらに、28年度の部会活動として、熊本地震における被災地支援や車両寄贈といった社会貢献活動や、他団体青年組織との意見交換会を実施したことなどを報告した。

引き続き、特定非営利活動法人福岡県就労支援事業者機構の野口義弘理事が「協力雇用主の活動について」をテーマに講演した後、「トラック運送業界における人材確保対策について」をテーマとしたパネルディスカッションを実施。講演を行った野口氏、五月女奈緒美氏（三福運輸㈱代表取締役社長、新潟県）、丹羽悟氏（丹羽商㈱専務取締役、愛知県）、森川公氏（道前運送㈱代表取締役社長、愛媛県）の4氏をパネリストに、日本ＰＭＩコンサルティング㈱の小坂真弘代表取締役社長をコーディネーターに迎え、各社の取り組みを踏まえながら、人材確保に関する見識を深めた。

研修会終了後に行われた交流会では、全国各地から参集した部会員たちが親睦を深めるとともに、積極的な情報交換などを行った。

平成28年度青年部会全国大会（２月24日、京王プラザホテル）

人材確保に関する取り組みについてパネルディスカッションが行われた

運賃「値上げ」27％、「値下げされた」は11％

国交省 第3回トラック運送業の適正運賃・料金検討会「アンケート調査結果」

国土交通省は2月20日、第3回トラック運送業の適正運賃・料金検討会（座長・藤井聡京都大学大学院工学研究科教授）を開き、昨年末から今年1月にかけて実施したアンケート調査結果を提示した。

調査対象は全国のトラック運送事業者1776者で、回答したのは545事業者（回収率30・7％）。取引上の立場は、「元請け」が61・8％を占め、次いで「1次下請け」が31・4％、「2次下請け」が6・3％。

第3回トラック運送業の適正運賃・料金検討会（2月20日、国交省）

主な輸送品目について、契約している運賃体系は「貸切（距離制）」が49・4％、「個建て」が29・6％、「貸切（時間制）」が10・5％。

費用収受の状況については、燃油サーチャージについて、38・6％が収受できている（運賃に含む形で収受を含む、以下同様）とし、車両留置料については33・6％が、附帯業務料（仕分け、検品、横持ち等）は42・9％が、積込・取卸料については49・9％が「収受できている」と答えた。

最近、運賃の変更があったかどうかについては、「値上げした」が26・9％、「値下げされた」が10・6％。

安全対策費について、十分対策できるだけの支払いをもらっていると答えたのは26・5％で、最低限の対策ができるだけの支払しかもらっていない事業者が54・2％、最低限の対策すらできていないとする事業者も19・3％を占めた。

十分な運賃・料金収受のために、効果的だと思うことについて聞いたところ、「過剰に安く請け負う業者がいなくなる」が効果ありと答えた割合が93・9％で最も多く、次いで「附帯作業・高速代を別立てで収受できる環境を作る」が93・2％と多かった。

また、「法令遵守できない業者への取締り等を強化する」について89・5％が、「国が下限運賃を提示し、違反があれば変更命令審査を行う」も87・9％が効果ありと答えたが、「下限運賃・変更命令審査」については5・9％が「逆に支障あり」とした。

なお、同検討会にはオブザーバーとして坂本克己副会長と馬渡雅敏副会長が出席した。

若年ドライバーの採用拡大に期待

「啓発ポスター」「自動車識別シール」今号に折り込み

「準中型免許」

平成29年3月12日からスタート

「準中型免許」の創設を伴う改正道路交通法が、いよいよ3月12日に施行される。「準中型免許」は、車両総重量3・5㌧以上7・5㌧未満の小型トラックなどを対象とし、普通免許の経験を問わずに、18歳で取得が可能だ。

これまでの普通免許では、小型でも運転できないトラックが多く、若年層を中心に、ドライバーの就業や採用に大きな障害となっていた。人手不足が一層深刻化し、若年ドライバーの確保を最重要課題とするトラック運送業界にとって、「準中型免許」が大きな後ろ盾となることは間違いない（2、4面に関連記事）。

なお、今号の『広報とらっく』に、「準中型免許制度開始に伴う啓発ポスター」と「自動車識別シール」を同封する。ポスターと識別シールは、新たな免許の区分と運転できる車種との関係を分かりやすく整理したもので、シールはトラックへ貼付できる。また、ポスターは運転者休憩施設などへ掲示して、制度内容の周知に活用されたい（詳細4面）。

全日本トラック協会 presents 『ドライバーズ・リクエスト』放送中！（TBSラジオ系列全国33局ネット）

本番組は、トラック運送業界の安全や環境等への取り組みなどを内外に広くPRするとともに、パーソナリティの宮崎瑠依さんと皆川玲奈TBSアナウンサーが、車に関する話題や音楽で全国のドライバーの皆さんの安全運行をサポートします。

・3月の特別番組放送予定
3月10日（金）「Gマーク制度」について［流通経済大学 学長 野尻 俊明 氏］
3月17日（金）トラック行政の最近の取組について①［国土交通省自動車局 貨物課長 加藤 進 氏］
3月24日（金）トラック行政の最近の取組について②［　〃　］
3月31日（金）平成29年春の全国交通安全運動［国土交通省自動車局 安全政策課長 平井 隆志 氏］

3月の名言

人を信じることは人を救ふ

高村 光太郎（1883.3.13～1956.4.2）
日本の詩人、彫刻家。代表作は詩集『道程』『智恵子抄』、彫刻作品『手』など。<出典：ウェブサイト「高村光太郎　名言・格言集」>

コラムラインナップ

タイヤケアホントの話【意外と理解されていない「夏用タイヤ」と「スタッドレスタイヤ」の違い】…3面／トラック運送事業者のための経営のヒント【自ら動かなければ改善できない】…5面／食の新旧街道を行く【冬野菜の道②雪と水で育つ「勝山水菜」】…7面

強靭な天然ガススタンドが、NGV 災害時の物流を支えます

物流事業にとって、災害に強い強靭な燃料供給システムの確保は非常に重要です。2011年の東日本大震災では、92%の天然ガススタンドが被災直後から支障なく稼働しました。
全国約300ヵ所に配置される天然ガススタンドは、そのほとんどが大震災レベルにも耐えうる導管設計で、燃料（ガス）を供給します。

2016年11月、国内メーカーによる大型天然ガストラックの車型が追加されました
写真提供：いすゞ自動車株式会社

一般社団法人 日本ガス協会　〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-15-12　TEL：03-3502-0215　http://www.gas.or.jp/ngvj/

配達くん 運輸業専門の経営管理システム
常にワンランク上を追求している配達くん
益々充実した配達くん13で経営効率をバックアップします。

さらに進化した配達くんで、貴社にピッタリフィットした総合システムを構築しませんか？
配達くん13は、従来からのビルトイン方式を継承しつつ、システムの柔軟性向上と周辺システムのデータ連携機能を大幅に拡充しました！

配達くん　検索　クリック
http://www.daisosystem.co.jp
または、電話でお気軽にお問い合わせください。
詳しい資料を無償で提供しています。

大創システム株式会社 DAISO SYSTEM CO.,LTD.
本　社　〒110-0005 東京都台東区上野1-17-6
TEL.03(3831)3300 FAX.03(3831)3369
東北支店　〒984-0805 宮城県仙台市若林区南材木町65
TEL.022(216)5851 FAX.022(216)5852

ニュース・ターミナル（トラック協会ニュース）
News 2017.2.15–3.1

全ト協

衝突被害軽減ブレーキ装置導入促進助成を新年度から開始

第108回交通対策委員会

第108回交通対策委員会（伊藤昭人委員長）が2月16日、愛知県みよし市の中部トラック総合研修センターで開催された。

議事として、①平成29年度交通対策事業計画（案）②29年度事故防止関係助成事業の概要③交通事故防止対策の充実強化④運輸安全マネジメント制度の今後の展開――について協議され、いずれも原案通り承認された。

29年度交通対策事業計画（案）としては、「追突事故および交差点、高速道路における事故防止対策の推進」を図るため、ドライバー教育テキストを活用したトラックドライバーの初任運転者教育等について、実施体制等を充実させることなどが盛り込まれた。また、26年度より各都道府県トラック協会との共催で実施されている「ドライブレコーダ活用セミナー」では、全日本トラック協会が制作した「トラック運送事業者のドライブレコーダ活用マニュアル」の内容を見直すとともに、効果的な映像を活用したセミナーへの内容刷新を計画している。さらに、安全対策機器の普及促進に関しては、29年度関連予算に8㌧未満の中型車を対象に「衝突被害軽減ブレーキ装置導入促進助成」として2億円を新たに盛り込んだほか、大型車等による左折時巻き込み事故防止を図るため、「側方視野確認支援装置」を助成対象機器に追加した。

同委員会終了後には自動車識別シール貼付式が行われ、委員が見守る中、伊藤委員長が中型トラックにシールを貼付した（関連4面）。

また、研修センターの施設見学会も開催された（関連3面）。

第108回交通対策委員会（2月16日、中部トラック総合研修センター）

◎管理者の皆さんへ◎

新免許制度下では、採用時に注意！

「普通免許の取得年月日の確認はしっかりと」

新免許制度では、採用担当者や運行管理などの管理者は、「普通免許の取得年月日」の確認・管理を徹底してください。

新免許制度下で、平成29年3月11日以前の普通免許保有者は、自動的に「5㌧限定準中型免許保有者」とみなされ、車両総重量5㌧未満のトラックを運転できます。一方、同年3月12日以降の普通免許保有者が運転できるのは車両総重量3・5㌧未満のトラックに限られます。これらの違いは、現行の普通免許保有者が次の免許更新時期が来るまでの間は、免許証に明記されず、免許証の自動車の種類を見ただけでは分かりません。免許更新後は、「免許の条件等」に、3月11日以前の免許には「準中型車（5㌧）に限る」という旨が記載されます。

また、同年3月11日以前の普通免許保有者でも、免許取り消しなどで3月12日以降に免許を取り直した場合、本人は車両総重量5㌧まで運転できると認識している場合があります。このように、免許制度が変わってからの数年間は、注意が必要です。免許証の交付年月日だけでなく、取得年月日をしっかりと確認して、無免許・無資格運転にならないように管理をお願いいたします。

巡回指導に係る評価手法の全国均一化を推進

第45回適正化事業委員会

2月20日、第45回適正化事業委員会（粟飯原一平委員長）が開催された。

議事では、①平成28年度適正化事業実施機関の活動状況②28年度貨物自動車運送事業の実施状況③28年度適正化事業指導員表彰（案）④29年度適正化事業活動指針（案）⑤29年度事業計画（案）および予算書（案）――について審議し、いずれも原案通り承認した。

「29年度適正化事業活動指針（案）」では、巡回指導に係る評価手法の全国均一化をさらに推進するとともに、現在見直し作業を行っている『巡回指導マニュアル』について、見直し後、指導員に対する研修を行い、周知を図る。

また、Gマークについては、認定事業所に対して、「Gマーク」ステッカーの確実な貼付を期すとともに、ステッカーの「有効期限切れ」や「抹消登録」時の剥離の徹底等、ステッカーの適正な管理を推進することとした。

第45回適正化事業委員会（2月20日、全ト協）

さらに、リーフレット『貨物自動車運送事業者が事業用自動車の運転者に対して行う指導・監督指針（平成29年3月施行）改正のポイント』を作成・配布し、運転者教育を励行する。

なお、冒頭、国土交通省自動車局貨物課トラック事業適正化対策室の高橋芳則室長からの説示が行われた。

適正化事業の信頼性向上に向け協議

第41回貨物自動車運送適正化事業対策協議会

第41回適正化事業対策協議会（2月22日、全ト協）

2月22日、第41回貨物自動車運送適正化事業対策協議会（主催・国土交通省、議長・野尻俊明流通経済大学学長）が開催された。

国交省大臣官房の堀家久靖審議官によるあいさつの後、全国適正化事業実施機関事務局から、2月20日に開催された第45回適正化事業委員会での承認事項について報告が行われた。

同協議会は、学識経験者やマスコミ・荷主関係者や一般消費者、労働組合関係者、貨物自動車運送事業者関係者等で構成され、適正化事業の施策に関する議論を行い、貨物自動車運送事業の信頼性向上を図っていくためのもの。

委員からは、巡回指導の充実やGマーク制度の認知度向上などに関する意見が述べられ、活発な議論が交わされた。

社会貢献活動など28年度の活動状況を報告

青年部会全国代表者協議会

2月23日、全日本トラック協会青年部会（山本明徹部会長）は、平成28年度第3回全国代表者協議会を開催した。

山本部会長と馬渡雅敏全ト協副会長によるあいさつに続き、国土交通省自動車局の加藤進貨物課長が「トラック行政の最近の取組について」をテーマに講演。講演後の質疑応答では、加藤貨物課長と部会員との間で将来のトラック運送業界の展望に関する意見交換を行った。

また、協議事項として、ブロック大会の開催状況や熊本地震の被災者支援といった28年度の業務報告を行うとともに、29年度の事業計画（案）について説明。

続いて、青年部会が2月6日～17日にかけて実施した、Webアンケート「トラック運送業界における女性雇用促進に関する実態調査」の結果（速報版）などについて報告が行われた。

平成28年度第3回青年部会全国代表者協議会（2月23日、全ト協）

全ト協行事予定

（3月1日～3月31日）

▽3月1日
・第46回環境対策委員会
▽3月2日
・第3回物流ネットワーク委員会
▽3月3日
・第7回労働安全・衛生委員会
・第8回経営改善・情報化委員会
▽3月9日
・正副会長会議
・第11回全国貨物自動車運送適正化事業実施機関本部長会議
・第169回理事会
▽3月23日
・第33回貨物自動車運送事業安全性評価委員会

法令○×クイズ

～規制標識編～

下記の1～5の標識は、いずれも地が青、図が白の規制標識です。

❶
この標識は、高速自動車国道における牽引自動車の通行区分を示している。（○・×）

❷
この標識は、高速自動車国道における大型貨物自動車等の通行区分を示している。（○・×）

❸
この標識は、高速自動車国道又は自動車専用道路であることを示している。（○・×）

❹
この標識は、近くに学校や幼稚園があることを示している。（○・×）

❺
この標識は、安全地帯であることを示している。（○・×）

（解答は7面）

TS（トラックステーション）情報

改築に伴い運営時間変更

東神トラックステーション

東神TSは、平成29年8月以降予定している改築工事に向けて、下記の通り運営時間を変更する。

なお、改装工事中の運営方法およびリニューアルオープンの日程等は追って発表される。

・宿泊：3月30日宿泊分まで受付（4月以降休業）
・入浴：4月中の営業時間を10時～21時（最終受付20時）に変更（5月以降休業）
・食堂：4月から日曜・祝日は部分休業。営業時間を10時～21時（ラストオーダー20時30分）に変更（4月29日以降全面休業）
・休憩室：4月中の営業時間を9時～21時に変更
・運行情報センター・駐車場は変更なし

食堂・浴室・コインランドリーを一時休業

矢板トラックステーション

矢板TSは、食堂・浴室・コインランドリーについて、次の通り一時休業する。

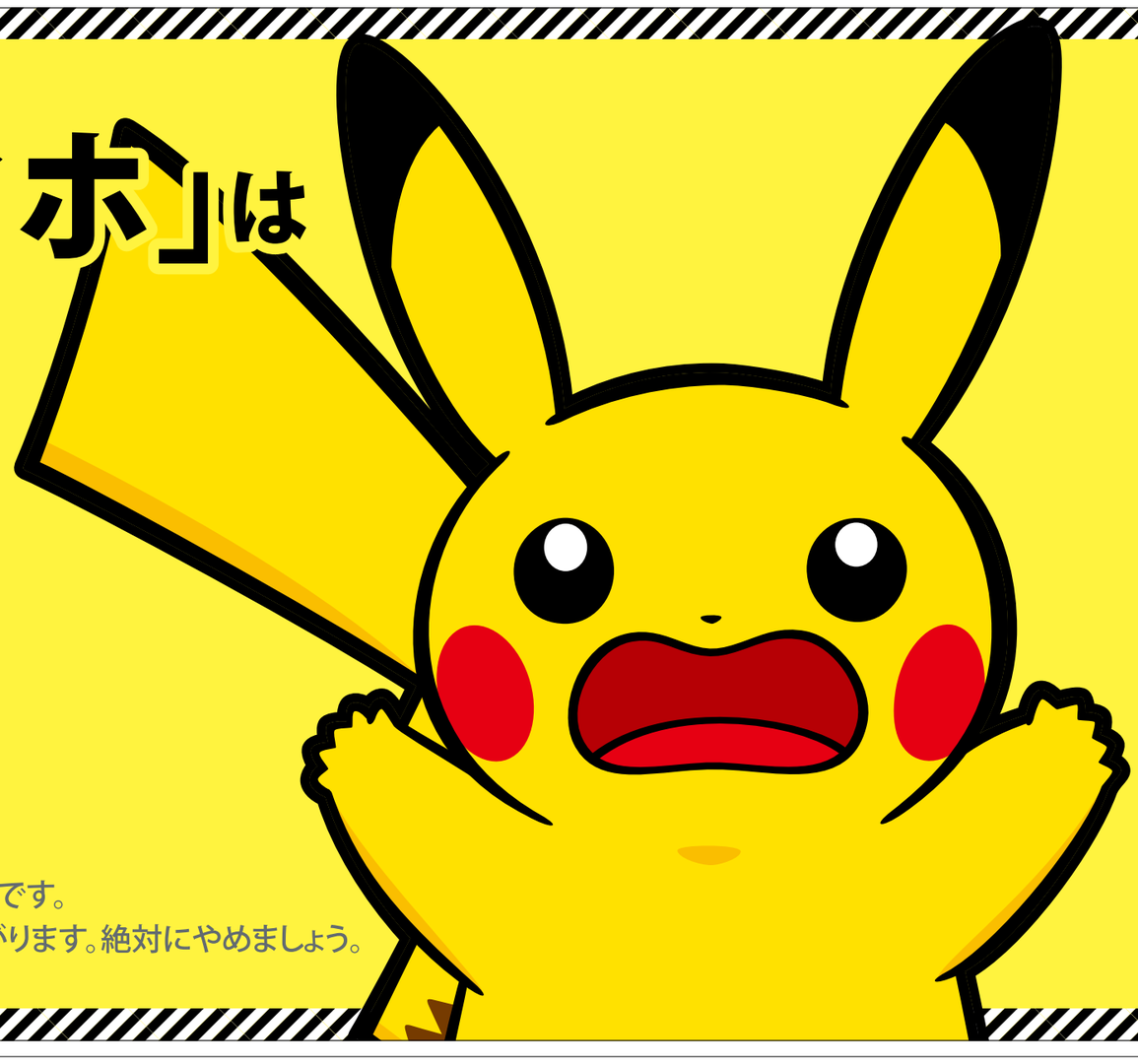
▼休業期間
平成29年3月11日(土)～13日(月)

▼休業時間
食堂：7時～23時
浴室・コインランドリー：10時～23時

The Pokémon Company　Nintendo

運転中の「ながらスマホ」は

NO!



自動車や自転車を運転しながらスマートフォンを操作する「ながらスマホ」は非常に危険です。
画面に意識が集中してしまい、周囲の危険を発見することができず、思わぬ事故につながります。絶対にやめましょう。

© 2017 Pokémon. © 1995-2017 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc.　91/151

危険予知訓練（KYT）シート：交通事故防止編

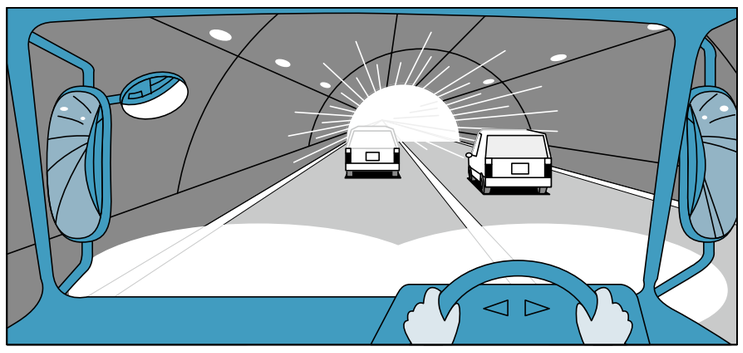
あなたならどうしますか？

〔第85回〕「トンネルの出口に接近時」

この角を基準に拡大率を141%に設定すると、A4サイズでプリントできます。

状況　3月初旬の昼間、あなたは高速道路のトンネル内を走行しています。前方には乗用車が走行しています。出口が見えてきました。この場面にはどのような危険がありますか。また、危険を避けるためにはどのような運転をすればよいでしょうか。考えてみましょう。

○



○

◆どのような危険がありますか？

◆どのような運転をすれば危険を避けることができますか？

（解説・7面）

ニュース・ターミナル（官公庁ニュース等）

News 2017.2.10—3.1

国交省

「働き方改革」に関する石井国交大臣とトラックドライバーとの意見交換会開催

6人のドライバーが参加

2月17日、『働き方改革』に関する石井国土交通大臣とトラックドライバーとの意見交換会」が国土交通省の国交大臣室で開催され、石井啓一国交大臣と6人のトラックドライバーが、働き方に関する意見を交わした。

同会に出席したドライバーは、深澤拓也さん（ヤマト運輸㈱）、徳毛剛さん（福山通運㈱）、高山治朗さん（㈱大昌運輸）、星川力さん（結城運輸倉庫㈱）、大内めぐみさん（㈱長野フロー）、高野絵理さん（㈱藤倉運輸）の6人。

（写真左から）高野さん、大内さん、深澤さん、石井国交大臣、徳毛さん、高山さん、星川さん（2月17日、国交大臣室）

意見交換では、1日の労働時間や宿泊を伴う勤務、集配先での荷待ち時間や附帯作業、また、宅配における1日の配達件数や再配達になる割合などについて石井大臣が各ドライバーに尋ねた。このほか、女性ドライバー2人には、荷役作業の効率化や子育てと両立可能な勤務形態・待遇など、女性ドライバーを受け入れるための環境整備に関する実態・意見について聞いた。

ドライバー側から自由な意見が多数上がり、石井大臣は「今日は本当に率直な意見をたくさんいただいた。『働き方改革』を進めるため、今後の施策に活かしていきたい」と述べた。

法定3要素を維持 次世代デジタコで検討

国土交通省は2月15日、「第5回次世代運行管理・支援システムについての検討会」を開き、軽井沢スキーバス事故対策の関係で中断していた次世代運行管理・支援システムについての検討を1年半ぶりに再開した。

次世代運行管理・支援システムについての検討課題について、勉強会で検討を重ねた結果、車両走行データの取得方法については、海外の動向等を注視しつつ、自動車メーカーに働きかけていくこととした。また、デジタル式運行記録計に義務付けるべきデータとしては、当面は現行法定3要素を維持し、今後、さらに追加のデータが必要かどうか検討することになった。

来年度以降は、次世代運行管理ワーキンググループ（WG）で、ドライブレコーダ一体型機器の活用や事故防止運行モデル（体調予報等）の普及などを検討する。

運転者の体調予報については、安全運行サポーター協議会に委託。デジタルタコグラフデータを含む運転者のビッグデータを収集し、個々の運転者の疲労度を5段階で予測して運行管理に役立てる。

次期物流大綱策定へ 有識者検討会が初会合

国土交通省は2月16日、次期（平成29年～33年）総合物流施策大綱の策定に向けた有識者検討会を設置し、初会合を開いた。今夏の新大綱閣議決定を目指す。

物流を取り巻く環境は、労働力不足の顕在化や国際競争の激化、情報通信技術などの技術革新、災害リスクの高まりなどの課題がある。

初会合では、委員から物流分野の労働力不足を懸念する意見が多く出された。

「荷主協力依頼」新設へ 3月25日まで意見募集

国土交通省は、2月24日から3月25日まで、「トラック事業における荷主への協力依頼の新設等について」に関するパブリックコメントを実施している。トラック事業では、自動車運送事業法第64条に基づき、トラック事業者が行った過積載運行等の法令違反行為について、荷主が指示するなど主体的な関与が認められた場合に、トラック事業者の違反行為の再発防止を図るため、当該荷主に対する措置として、「荷主勧告制度」が設けられている。しかし、現行の荷主勧告制度（荷主勧告のほか通達で規定する警告および協力要請を含む）は、法令違反を犯したトラック事業者に対して行政処分が行われることが前提となっており、発動までに時間を要しているとともに、対象となる事案が限られるなど、必ずしも制度が十分に機能していないとの指摘もある。こうした状況を踏まえ、トラック事業者と荷主との間で、トラック事業者の法令遵守のための協力・連携が促進されるよう、トラック事業者の法令違反行為に対して早期の段階で幅広く荷主へ協力を求める仕組みの導入等を検討している。

この度の荷主への協力依頼の新設等では、関係機関からトラック事業者に係る各種の法令違反情報があった場合に、トラック事業者に対する行政処分の有無にかかわらず、トラック事業者が違反運行を行っていた際の積載貨物の荷主を形式的に特定し、早期の段階で幅広く荷主への注意喚起および改善に向けた協力を依頼する「協力依頼書」を新たに発出することとする。また、そのほか所要の措置を講じる。今後のスケジュールとして、パブリックコメントを経て平成29年3月下旬に施行し、同4月に施行するとしている。

3月15日から受付開始 飲酒運転防止インストラクター養成講座

特定非営利活動法人ASK（アルコール薬物問題全国市民協会）では、3月15日から「飲酒運転防止インストラクター養成講座」の申込受付を開始する。

同講座は、アルコールについての基礎知識を広め、飲酒運転に繋がる飲酒習慣を変えることによって、飲酒運転を根絶するための担い手を養成するもので、認定までの流れは表の通り。

詳細・お問い合わせは、ASK（☎03・3249・2551、http://www.ask.or.jp）まで。

表 飲酒運転防止インストラクター認定までの流れ

申し込み受付	3月15日受付開始 （申込方法：メールフォーム／申込用紙の郵送・FAX）
ステップ1	「飲酒運転防止通信スクール」受講 （3回の添削、4～9月頃を目安に提出）
ステップ2	1日集中研修会「スクーリング」参加 （9～12月に全国約18か所・21回程度開催予定）
ステップ3	会社や地域等で参加型研修を実践し、3月上旬までに「実践報告シート」を提出
認定書発行	実践報告シート審査後、認定証を発行

「ドライバー甲子園」開催 現役ドライバーらがプレゼン

2月19日、東京・有楽町で、「第4回トラックドライバー甲子園アワード全国大会」（主催：（一社）ドライバーニューディールアソシエーション、後援：国土交通省、経済産業省、全日本トラック協会）が開催された。「共に学び、共に成長し、共に走り続ける」を大会テーマに、社内環境や企業価値の向上のために取り組んだ、5か月間の活動を現役ドライバーらがプレゼンテーションし、内容等を競うもので、全国15チームの中から勝ち抜いた4チームが発表した。

また、「MVD（Most Variable Driver）」の表彰も同時に行われ、仲間・会社のために頑張っているドライバー5人にスポットライトを当て、その活躍をたたえた。

中部トラック総合研修センター施設見学会を開催

交通対策委員会

全日本トラック協会交通対策委員は、2月16日に開催された第108回交通対策委員会後に、中部トラック総合研修センター施設見学会を開催した。

当日は愛知県トラ協の小幡会長が施設建設の経過を含めた講演を行い、畔柳之保センター長が施設の詳細を説明した。

28年11月1日にグランドオープンを果たした同センターでは、①安全②健康で長生き③災害対応④貨物運送事業の生産性向上――を柱に、ドライバー向けの研修や人材育成の講座など様々なカリキュラムが設定されている。29年度からは、未経験ドライバーを対象にした準中型車研修などが新たに開始される。

見学会参加者たちは、管理棟の研修フロアや適性診断エリア、昨年完成した屋内実技練習場などを見学。多くの参加者が充実した最新鋭の設備と規模に感心していた。

屋内実技練習場を見学する参加者たち

タイヤケア ホントの話

タイヤジャーナリスト 渡辺 剛満

第70回「意外と理解されていない『夏用タイヤ』と『スタッドレスタイヤ』の違い」

幹線道路が突然の大雪に見舞われた時、テレビの報道番組では、必ずといってよいほど夏用タイヤを装着した車両が映り、そのあとに「雪道でスリップして、前に進めません」という、注意喚起に乏しい言葉が続きます。タイヤ業界からの要望を書けば、まず「スタッドレスタイヤを装着していないクルマが、雪道でスリップしています」と説明し、そのあとに「夏用タイヤのゴムは、雪のせいで冷えて硬くなって、路面をつかむことができません。スタッドレスタイヤのゴムなら冷えても軟らかさを保持でき、雪道でも路面をしっかり捉えスリップせずに走ることができます」という流れで、夏用タイヤとスタッドレスタイヤに使われているゴムの違いを周知していく努力がほしいところですが、何年もわらない報道にいつも歯がゆい思いをしています。

以前にも書きましたが、夏用タイヤに使われているゴムは、気温が7度以上の環境で使用されていることを想定しています。その7度を境界にして、ゴムの柔軟性が低下していき、気温が2度前後になると、ゴムの弾力性が失われます。さらに冷えていくと、夏用タイヤのゴムは異なる物質に変化してしまいます。

化学的に表現すれば、「ゴムのガラス転移」と呼ばれる現象が起き、ゴムがガラスのような硬い素材に変わってしまうのです。つまり、雪の上でスリップ空転をしている夏用タイヤは「ガラス製の車輪」も同然となり、氷点下20度近くまで気温が低下すれば、接地面をハンマーで叩くと割れてしまうほどのもろさになります（信じられないことですが）。夏用タイヤには、このような「寒さでガラス化するゴム」が使用されているのです。

一方、スタッドレスタイヤに使われているゴムは、氷点下50度の環境においても、軟らかい状態のままです。凍結した路面の上でも、柔軟なゴムが路面に吸い付き、雪上性能に関しても、ふかふかとした新雪（15センチメートル程度）であれば、タイヤの溝の両壁にある柔軟なゴムで雪をつかみ、外に排雪することができます。

さらに、スタッドレスタイヤのゴムには、開発に20年以上もの時間を費やした、凍結路面でのスリップを防ぐ技術が使われています。これは、国産メーカーと一部の海外トップメーカーが編み出した、高度なゴム素材の技術です。寒さに強いだけではなく、接地面のゴム表面に何万本もの細かい溝（サイプ）があることによって、凍結路面でのスリップの原因となる「水膜」を吸い取る特殊な能力も同時に兼ね備えています。

カチカチに凍った路面でも、車両重量のかかったタイヤを回転させれば、氷の表面が溶け出し、水分が出てきます。実は、その水分が出るせいで、夏用タイヤの車両が雪道でスリップしてしまうのですが、スタッドレスタイヤには、その水分を吸い取る能力を備えた特殊なゴム素材（吸水ゴム、発泡ゴム）が使用されています。そのおかげで、冬場の凍った路面でも、スムーズに移動することが可能になっているわけなのです。

PA-MAN
インターネットからもご注文お受けします。
http://Pa-man.shop/
新商品 ドライブ・レコーダー 2.7"液晶付き DC12/24V
品番 11215200 型式 PK3200
15,800円 税別
●その場で映像の確認ができる、2.7"液晶付き。
●LED信号機も映る、27.5fps仕様。
●カメラ機能付きで、静止画の撮影も可能です。
●バッテリー内蔵で、電源のない場所でも約30分使用できます。
●microSDカード(32GB)付属。
走行中の画面
①ドライブレコーダー本体 ②本体ステー、マウントベース ③micro SDカード(32GB)
④AVケーブル(3.6m) ⑤シガープラグ付き電源コード(4m) ⑥吸盤(3ケ)
主な仕様
撮像素子 300万画素 CMOSカメラ
フレームレート 27.5fps
3Gセンサー オフ、弱、中、強
対応外部記憶媒体 micro SDカード 8GB～32GB クラス10
記録データ 年月日、時間
音声録音 有り
外部映像出力 有り
※詳しい仕様は弊社カタログ・ホームページでご確認ください。
MENUボタン ON／OFFボタン 本体ステー スピーカー micro SDカードスロット DC12／24Vソケット AV OUT端子 mini USB端子 mini HDMI端子
MODEボタン REC ボタン UPボタン DOWNボタン 2.7インチ液晶ディスプレー
品質マネジメントシステムに関するISO9001取得
創業1965年 株式会社パーマンコーポレーション 信頼の3年保証
http://pa-man.shop/ E-mail:hrinfo@pa-man.com
〒550-0021 大阪市西区川口4-1-5
ご注文電話 0120-202-800

商工中金は、幅広いサービスで
中小企業と地域の未来を支えます。
地域再生・活性化支援 組合支援 創業・新事業進出支援 セーフティネット支援
ものづくり支援 企業間連携支援 海外展開支援 再生支援
環境対策支援 女性の社会進出・少子化対策支援 財務リスクマネジメント・BCP支援 地域資産活用支援・農商工連携支援
事業承継支援 全国100店舗 海外4拠点 各種預金・個人向け定期預金 マイハーベスト
定期預金 マイハーベスト
商工中金は、国とともに、中小企業をサポートする公的金融機関です。
お客さまとともに、地域活性化に全国で取り組んでいます。
人を思う。未来を思う。 商工中金

トラックに新しい免許が仲間入り!!

「準中型免許」

1面に関連

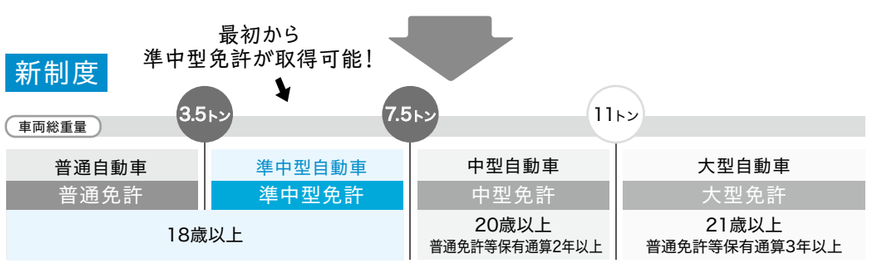
18歳から取得可能な「準中型免許」が新設されました。免許の種類と運転可能な車両区分を確認してください!!

平成29年3月12日からスタート

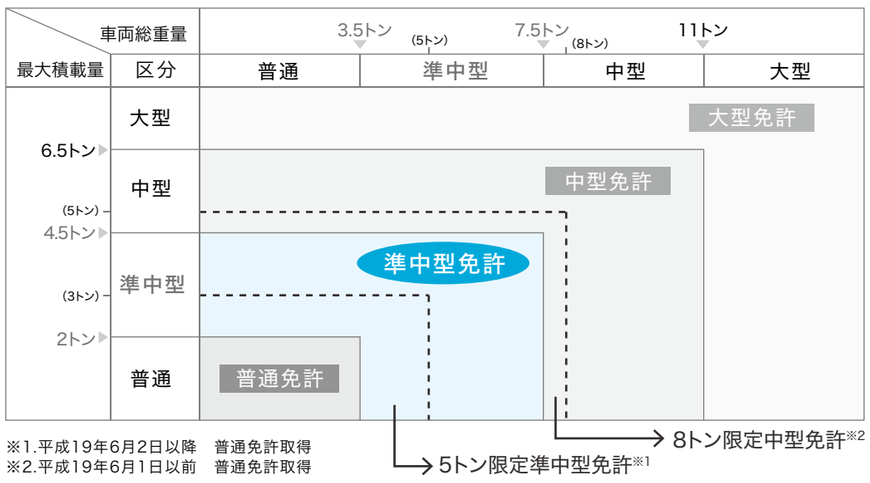
新たなトラック免許の概要

従前の制度

新制度　最初から準中型免許が取得可能!



【新たな免許区分による車両総重量と最大積載量】



※1.平成19年6月2日以降　普通免許取得
※2.平成19年6月1日以前　普通免許取得

準中型免許を取得するためには

従前の普通免許を保有する人（平成19年6月2日以降、平成29年3月11日までに普通免許を取得）

①限定解除により準中型免許を取得

従前の普通免許は、平成29年3月12日以降、自動的に「5トン限定準中型免許」とみなされます。
この5トン限定を解除して車両総重量7.5トン未満のトラックを運転するためには、次のいずれかの方法があります。

- 指定自動車教習所を卒業（技能審査に合格）　技能教習4時限　または　4時限でOK!
- 運転免許試験場で限定解除審査に合格

※AT限定普通免許は別途AT限定解除が必要

平成29年3月12日以降に初めて免許を取得する人

おすすめ! ②最初から準中型免許を取得する場合

- 指定自動車教習所を卒業　技能教習41時限　学科教習27時限　→　運転免許試験場で学科試験および適性試験に合格

注意! ③準中型免許を普通免許（MT）取得後に取得する場合（段階取得）

※②の方が③の方法より教習時間が6時間少なくてすみます

普通免許を取得
- 指定自動車教習所を卒業　技能教習34時限　学科教習26時限
- 運転免許試験場で学科試験および適性試験に合格

→ 準中型免許を取得
- 指定自動車教習所を卒業　技能教習13時限　学科教習1時限
- 運転免許試験場で適性試験に合格

新たな免許制度で乗車可能なトラックの種類

普通免許　18歳～

普通免許の対象となるのは、車両総重量が3.5トン未満の自動車です。主に小口商品の配送などで使用され、自家用のライトバンや軽トラックなどが大半を占めています。

準中型免許　18歳～

準中型免許の対象となるのは、車両総重量が3.5トン以上7.5トン未満の小型トラックです。主に近距離の配送に使用され、宅配便やコンビニ配送などのトラックとしても多く使用されています。

Aタイプ　Bタイプ

中型免許　20歳～

普通免許等保有通算2年以上

中型免許の対象となるのは、車両総重量が7.5トン以上11トン未満の中型トラックです。中・近距離を中心に幅広い用途で使用されています。

Cタイプ　Dタイプ

大型免許　21歳～

普通免許等保有通算3年以上

大型免許の対象となるのは、車両総重量11トン以上の大型トラックです。大型トラックは、主に都市と都市の間を結ぶ幹線輸送など、長距離で大量に荷物を運ぶ用途に使用されるほか、大きな建設資材や重量物なども輸送します。

◉◉「自動車識別シール」をご活用ください!◉◉

自動車識別シール貼付式を開催（平成29年2月16日、中部トラック総合研修センター）

全日本トラック協会では、3月12日に改正道路交通法が施行され、「準中型免許」が創設されることに伴い、自動車の種類が細分化されることで、知らずに資格のない車両を運転してしまう可能性もあることから、自動車の種類が識別しやすいシールを今号の『広報とらっく』に同封しました。

特に、車両の区分が外観からだけでは見分けにくい「準中型車」は、3月12日以降、現行の普通免許は「5t限定準中型免許」が適用されることとなるほか、「中型車」では平成19年6月2日以降の旧普通免許で「8t限定中型免許」となっていることなどから、「準中型車」と「中型車」の違いを、シールで見分けやすいようにするものです。

なお、この自動車識別シールの追加が必要な場合には、日本貨物運送協同組合連合会で自動車識別シールの種類を以下のように準備し、頒布できるよう体制を整備しておりますので、直接、日本貨物運送協同組合連合会にお問い合わせください。

- Aタイプ「準中型車」（車両総重量3.5t以上～5t未満）
- Bタイプ「準中型車」（車両総重量5t以上～7.5t未満）
- Cタイプ「中型車」（車両総重量7.5t以上～8t未満）
- Dタイプ「中型車」（車両総重量8t以上～11t未満）
- 標準タイプ（平成29年3月1日付け『広報とらっく』同封シート：4種類入り）

【問い合わせ先】日本貨物運送協同組合連合会 事業部
☎03・3355・2035（直通）　ホームページ：http://www.nikka-net.or.jp

労務 Q&A 第132回

女性社員の妊娠を理由とした退職が慣行化しているが問題か

Q 先日、事務の女性社員が妊娠を理由に退職届を提出してきました。当社では別に社内規定があるわけではないのですが、長い間、事務の女性社員が妊娠・出産を機に退職するのが慣行になっています。昨今の社会情勢からみると、あまり感心できる状況でないと正直思うのですが、いかがでしょうか。

A 自主的な判断によるものとしても、そのような状態は避けるべき

【解説】妊娠を理由とした退職については、最近はマタハラ（マタニティハラスメント）問題の一つとして取りざたされることが多くなっています。御社の場合は、本人が退職届を出しているわけですから、さほど問題にはならないでしょうが、おっしゃるようにあまり感心したものとはいえません。そもそも「男女雇用機会均等法」は、働く女性に対し妊娠や出産を理由に不利益な扱いが行われることを禁じているのです。

つい先日も、合意をした覚えがないのに退職させられたという妊娠女性が裁判を起こしたケースで、東京地裁立川支部の判決が出されています。結果は、「女性が自由な意思で退職を選んだとはいえない」との理由で、退職を無効とした上、会社に未払賃金と慰謝料の計約250万円を支払うよう命じています。もう少し詳しくみると、女性は、測量会社に勤務していて、妊娠を上司に告げたところ、「現場作業は難しい」として、関連の派遣会社で働くよう指示され登録しています。その際、本人は退職したという意識はなかったのですが、後から、会社に「退職扱いになっている」といわれたというものです。こうした点について、判決は「女性には、会社に残るか、退職の上、派遣登録をするかを検討するための情報はなく、自由な意思に基づく選択があったとはいいがたい」と判断しました。これは、最高裁が平成26年に判決で打ち出した「妊娠を理由とした降格は原則違法」とする基準を退職に適用した初の判断とされていますが、いずれにせよ、妊娠や出産を理由とした退職が自主的な判断だとしても、そのようなことが慣行化しているという事態は避ける方が賢明です。

時代の流れを考えれば、御社でも今回はまだしも、これを機会に、今後は妊娠を理由とした退職届が出されたら、当該本人と十分話し合い、本当に辞める事情があるのか、慣行に従ったまでなのかを確認し、その上で実は辞める気がないということであれば、引き続き働いてもらった方が双方にとってもメリットが大きいということになります。

最近は、人手不足、人材不足といわれているわけですから、むしろ女性を大いに活用する方向に舵を切り替えるべきでしょう。以前にもこのコーナーで紹介しましたが、厚生労働省では、事業主に対しマタハラ防止についての方針等の明確化を求めていますので、マタハラ防止策全般についても併せて検討することが必要です。

トラック運送事業者のための 経営のヒント

物流ジャーナリスト　森田 富士夫

第181回 自ら動かなければ改善できない

どんなに華麗なパスを繋いでいても、シュートしなければゴールは生まれない。躊躇せずに思い切ってシュートしないと、得点には結び付かないのである。これは、日本サッカーの話ではなく、トラック運送業界のたとえである。自らアクションを起こさなければ、「待機時間短縮」や「取引条件改善」などは実現できないと言えよう。

また、サポーターがグラウンドに下りて、選手に代わってプレイすることもできない。つまり行政や業界団体は、いわばサポーターであり、精いっぱい応援し、後押しすることはできるが、プレイをするのは選手すなわち事業者自身なのである。

全国でパイロット事業が行われており、今年度事業の結果がそろそろまとめられようとしている。しかし、パイロット事業で大きな成果や教訓が得られたとしても、それをどのように活かすかは事業者自身にかかっている。そのためには、勇気や決断も必要だ。サポーターに代わってもらうことはできないし、荷主側が何とかしてくれるだろうといった、他人任せの期待もいけない。果敢に攻めているからこそ、オウンゴールも生まれるのだ。

保有車両数が約10台で、傭車比率は約40％、工場やデポでの作業なども行っているので従業員数は約20人という規模の事業者だ。取引先はその業種では最大手の企業で、物流子会社（以下、荷主）が間に入っている。同社の売上のほぼ100％が当該荷主との取引だ。

この事業者が昨年4月に、荷主に対して要望書を提出した。同社はずっと昔からの車両積載率などのデータを持っている。一定エリアに分布している工場間やデポなどで積み替えたりして、車両の稼働効率を高めるような運行をしてきた。同社のデータによると、積載率が一番高かったのは今から23年前だった。しかし、工場の統廃合やデポの再編成などで、約20年間に車両の稼働効率が低下してきた。それらのデータを示し、条件改善要望書を提出したのである。

協力会社は多数あるが、この事業者からの要望を受けて荷主は全協力会社を訪問してヒアリング調査を行った。その結果、①運賃（13項目）、②車両効率（5項目）、③附帯作業（3項目）、④各現場固有の課題（20項目）――に整理し、条件改善検討項目として事業者に文書で回答。改善目標や改善方法、タイムスケジュールを示し、改善実現への取り組みを事業者とともに進めている。

デリケートな内容もあるので、具体的には書けないが、自らアクションを起こす必要性をお分かりいただけるだろう。自ら動くことが改善への1歩である。

全ト協 平成29年度ドライバー等安全教育訓練促進助成事業

3/10（金）から 受付開始!

全日本トラック協会および各都道府県トラック協会では、トラックドライバー、安全運転管理者等の安全教育訓練の受講を促進するため、安全教育訓練の受講に対して助成を行っています。このたび「平成29年度ドライバー等安全教育訓練促進助成制度」について、研修日程等がまとまりましたので、ご活用ください。

なお、各研修施設では、3月12日から適用される国土交通省の指導・監督指針の告示（平成13年国土交通省告示第1366号）の改正内容を踏まえた研修も計画しておりますので、研修内容等については各研修施設までお問い合わせください。

※研修を申し込む前に所属の各都道府県トラック協会へ事前確認をお願いします。

◆特別研修（2泊3日）：受講料の7割を助成［Gマーク認定事業所の場合は全額助成］
（※中部トラック総合研修センターが行う5日間研修については別に定める。また、特別研修の受講料等詳細については、各研修施設に問い合わせのこと）
◆一般研修（1泊2日）：1講座1万円を助成

研修施設	研修種別	研修内容	日程	定員
中部トラック総合研修センター 愛知県みよし市福谷町西ノ洞21-127 ☎0561・36・1010	特別研修	初任ドライバー研修（5日間）	4/17(月)～21(金)、5/8(月)～12(金)、6/12(月)～16(金)、7/10(月)～14(金)、7/31(月)～8/4(金)、9/11(月)～15(金)、10/2(月)～6(金)、11/6(月)～10(金)、1/15(月)～19(金)、3/12(月)～16(金)	各12人［中型6人 大型6人］
		安全運行確立研修（3日間）	4/17(月)～19(水)、5/8(月)～10(水)、6/12(月)～14(水)、7/10(月)～12(水)、7/31(月)～8/2(水)、9/11(月)～13(水)、10/2(月)～4(水)、11/6(月)～8(水)、1/15(月)～17(水)、3/12(月)～14(水)	
		添乗指導者養成研修（3日間）	4/24(月)～26(水)、5/31(水)～6/2(金)、7/26(水)～28(金)、9/27(水)～29(金)、10/24(火)～26(木)、11/29(水)～12/1(金)、1/23(火)～25(木)、2/28(水)～3/2(金)	
	一般研修	リーダースキルアップ研修（中型） リーダースキルアップ研修（大型）	※1	
埼玉県トラック総合教育センター 埼玉県深谷市黒田2091-1 ☎048・584・0055	特別研修	ドライバー研修（3日間）	6/16(金)～18(日)、7/21(金)～23(日)、8/4(金)～6(日)、9/15(金)～17(日)、10/6(金)～8(日)、11/17(金)～19(日)	各20人
		安全運転管理者研修（3日間）	2/16(金)～18(日)	20人
	一般研修	新人乗務員研修 事故防止乗務員研修	※1	
自動車安全運転センター 安全運転中央研修所 茨城県ひたちなか市新光町605番地16 ☎029・265・9560	特別研修	ドライバー研修（3日間）	2トン：4/20(木)～22(土) 11トン：5/22(月)～24(水)、6/6(火)～8(木)、8/29(火)～31(木)、2/5(月)～7(水)、 4トン・6トン：2/13(火)～15(木)	各30人
	一般研修	貨物自動車運転者課程（2トン） 貨物自動車運転者課程（4・6トン） 貨物自動車運転者課程（11トン）	※1	
クレフィール湖東 交通安全研修所 滋賀県東近江市平柳町22-3 ☎0749・45・3872	特別研修	ドライバー研修※2（3日間）	6/1(木)～3(土)、7/20(木)～22(土)、9/24(日)～26(火)、11/9(木)～11(土)	各20人
		安全運転管理者研修（3日間）	5/11(木)～13(土)、8/3(木)～5(土)、1/22(月)～24(水)	各20人
	一般研修	安全運転研修	※1	
総合交通教育センター ドライビングアカデミーONGA 福岡県遠賀郡遠賀町大字今古賀81-5 ☎093・293・2359	特別研修	一般・初任ドライバー研修（3日間）	4/15(土)～17(月)、6/10(土)～12(月)、7/8(土)～10(月)、9/2(土)～4(月)、9/30(土)～10/2(月)、11/11(土)～13(月)	各20人
		添乗・指導管理者研修（3日間）	5/13(土)～15(月)、8/5(土)～7(月)、10/28(土)～30(月)	各20人
	一般研修	一般運転者・初任運転者・指導監督者研修 添乗（同乗）指導者研修	※1	
総合交通教育センター ドライビングアカデミー北海道 東地区：北海道釧路市芦野5-12-1 ☎0154・37・1196 西地区：北海道苫小牧市拓勇東町8-6-68 ☎0144・57・8410	特別研修	一般・初任ドライバー研修（3日間）	西地区：5/12(金)～14(日)、9/22(金)～24(日) 東地区：10/7(土)～9(月)	各20人
		添乗・指導管理者研修（3日間）	西地区：7/21(金)～23(日) 東地区：10/14(土)～16(月)	各20人
	一般研修	一般・初任ドライバー研修	※1	
総合交通教育センター ドライビングアカデミー大原 岐阜県多治見市幸町7-29-1 ☎0572・27・2356	特別研修	貨物ドライバー安全研修（3日間）	4/22(土)～24(月)、5/20(土)～22(月)、6/17(土)～19(月)、7/15(土)～17(月)	各20人
	一般研修	貨物ドライバー習熟研修	※1	
総合交通教育センター ドライビングアカデミーテクノ 広島県安芸郡熊野町5640-1 ☎082・854・4000	特別研修	一般・初任ドライバー研修（3日間）	4/15(土)～17(月)、5/13(土)～15(月)、6/10(土)～12(月)	各20人
		（運行・安全運転・添乗）管理者研修（3日間）	4/22(土)～24(月)、5/20(土)～22(月)、6/24(土)～26(月)	
	一般研修	一般・初任ドライバー研修 （運行・安全運転・添乗）管理者研修	※1	

※1　一般研修の研修日程、受講料等詳細については、各研修施設に問い合わせのこと
※2　クレフィール湖東の「9/24(日)～9/26(火)」は「9/16(土)～9/18(月)」に変更の可能性がある（3月末決定予定）

スパイラルフィルターで燃費は下げられる!!
「工場直売 だから安い!!」
「長持ち2倍 だからすごい!!」
吸気効率向上 → 出力向上 → 燃費削減
大手純正クオリティーを
ダイレクト販売
建機大手純正のメーカー工場直売品です。オイルエアー・燃料フィルタ全て1個からのご注文OKです
全車種対応
翌日納品
10万km走行も馬力が落ちない。＝燃費低減!!
一般品では7万kmでろ材のヨリが起こり出力低下!!
低燃費の秘密は…
フィルターの固定角度と間隔
特殊な密着防止技術でフィルター性能を100%引き出すことに成功。ロングライフによるコストダウンと吸気効率UPによる燃費削減効果で快適な運転を提供します。
愛車と燃費を守るため、研究を続けて65年
P.EYE ピーコックエレメント製造株式会社
Peacock Element Manufacturing Co.,ltd.
TEL 03-3458-0891 FAX 03-3472-0095
スパイラルフィルター 検索
info@pgf-japan.com
http://www.pgf-japan.com
本社：東京都品川区南品川4-15-4　国内拠点：札幌/苫小牧/仙台/北関東/長野/静岡/名古屋/大阪/神戸/九州　研究所：掛川工場　海外拠点：PGF深圳

業界唯一 運送業向け専門ユニフォームカタログ
by FAIRROAD FOR TRANSPORTER
FTK319 ネクタイ風デザインで頼もしい印象に。
FTK315 アシンメトリーがカッコいい高機能ニットシャツ。
今こそ！ユニフォームのモデルチェンジで若手ドライバーの確保を！
シーユーピー株式会社
〒700-0901 岡山市北区本町3番6号
TEL 086-221-9555（受付/月～金曜日 9:00～18:00）
フリーダイヤル FAX 0120-72-0128
Mail info@cupgp.co.jp
Web シーユーピー 検索 http://www.cupgp.co.jp/
SHOW your style.
トランスポーターは「みせる」時代へ。
FOR TRANSPORTER by FAIRROAD SHOW VOL.5

シリーズ 優良事例紹介

交通事故防止!! わが社の取り組み 第8回

有限会社吉部運送（山口県萩市）

『広報とらっく』では、トラック運送事業者の各企業での優良な交通事故防止対策の様子を紹介しています。
今回は荷主であるあぶらんど萩農業協同組合（JAあぶらんど萩・山口県萩市）と連携し、協力を仰ぎながら、高いレベルでの輸送品質の向上に努めている、山口県萩市の㈲吉部運送を紹介します。

「荷主の看板を背負って走る」

荷主と運送事業者が連携し　事故防止対策に磨きをかける

萩市の有名な観光地である「江戸屋横町」、「菊屋家住宅」などが描かれたラッピングトラック

荷主の厚い信頼に全力で応えるため　荷主の安全会議に参加し意識高める

種子　治一
代表取締役

㈲吉部運送（種子治一代表取締役）は、地元で生産された農産品を大型車で関西や九州などに輸送するほか、小型車で地元の農家への農業生産資材輸送などを行う運送事業者である。

同社が事故防止への本格的な取り組みを始めたきっかけは、8年前に波多野覚常務取締役が入社したことだという。かつては、あぶらんど萩農業協同組合（JAあぶらんど萩）が荷主となる農産品輸送を、同社と他の大手運送会社の2社で手がけていた。しかし、大手運送会社が当地から撤退することになり、輸送力維持のため、大手運送会社から波多野常務が移籍した。当時、大手運送会社では法令遵守への取り組みが進んでいたが、規模の大きくなかった同社ではまだまだ不完全であったという。そこで、大手運送会社で培ってきた法令遵守の考え方を同社に移植し、大手運送会社のノウハウを取り入れながら自社に合うような形に改善を重ねていった。

同社の車両には、大型車にも小型車にも「JA」のマークが入っている。これは、もし同社のドライバーが事故を起こしたり、危険運転を行った場合には、荷主であるJAにクレームが入る可能性があることを意味する。そのため同社のドライバーは、車両にJAのマークが入っているトラックを運転する際には「JAの看板を背負っている」という強い認識をもち、高い安全意識で運転を行うようにしているという。

さて、同社では荷主であるJAと協力して、安全輸送を維持していくための取り組みを積極的に行っている。

まず、JAあぶらんど萩では、半期に1度（3月・9月）「繁忙期における安全会議」を開催しているが、同社でも同会議に参加し、安全への意識を高めている。稲作が本格的に始まる春先には、多くの農家に肥料などを届ける必要がある。また、秋口の収穫期には、収穫した農作物を消費地へ輸送する必要がある。農作物生産者にとっての繁忙期は、同社における繁忙期でもあるのだ。忙しい中でのちょっとしたミスが大きな事故の引き金にもなりかねないため、荷主であるJAと運送会社である同社が協力しながら事故を未然に防ぐための体制づくりを行っている。

安全会議では、運送事業者として必要なことや、取り組みたいことなどがあった際には、同社からJAに積極的に改善を提案しているという。提案内容が、「安全性を高める」「輸送効率を向上させる」など、荷主側から考えても必要性の高い事案と認められれば、提案内容はすぐに取り入れられるという。

動態管理システムにより一部の情報はJAでもリアルタイムで確認できる

例えば、荷積み・荷卸しの際に操作するフォークリフトの免許は、同社では全社員に取得させている。フォークリフトは荷役作業の効率化に繋がる。免許取得にかかる費用は、同社がJAに対して免許取得の必要性を説明した上で、同社とJAが折半して負担しているという。

荷主と運送事業者が双方納得した上で投資を行い、輸送品質を高めていくことで、荷主も運送事業者もお互いに良い結果を得ることができる。「Win-Win」の関係が、同社とJAあぶらんど萩の間には成り立っているのである。

なお、同社では動態管理システムを導入しているが、荷物にかかわる一部の情報はJAにもリアルタイムに送られている。荷物の所在などについては、同社の端末だけでなく、JAの事務所の端末でも確認することができるようになっている。

Gマーク取得目指しエコドライブ推進　「会社の一体感」が社員を動かした

同社では、「Eco（エコ運転）Mamma（燃料）5%（削減）」と銘打ち、平成22年4月からエコドライブ運動に取り組んでいる。

同社のエコドライブ活動のスタートは、安全性優良事業所（Gマーク事業所）認定取得への取り組みと重なる。Gマーク事業所への認定に際しては、「安全性に対する取組の積極性」が問われる。Gマーク認定取得前の同社では、結果的には事故は起こっていなかったものの、安全に対する会社組織全体での取り組みについてはまだ不完全であった。Gマーク認定取得をきっかけに、全社的な安全への取り組みを加速させるとともに、同じようにまだ不十分だったエコドライブを推進させることで安全効果を高めるとともに、コスト削減にも繋げていこうと考えたという。

エコドライブ活動の実施に際しては、長距離輸送にあたる「チーム大型」（8人）と地場の輸送を担う「チーム配送」（同）の2チームにドライバーを分け、「燃費5%削減」を目標に設定して取り組みを開始。自社オリジナルの「エコドライブ推進マニュアル」を作成し、目標達成を目指した。年間目標を達成した暁にはドライバーにポイントを贈呈し、ポイントに応じた金額を賞与として支給して、還元する施策も取り入れた。これにより、燃費は大幅に改善された。

「最初はエコドライブ活動に否定的なドライバーもいましたが、次第に全員が取り組むようになりました。当社ではラッピングトラック（別項参照）も走らせています。最初はラッピングトラックに乗る1人だけが小まめに洗車している状況でしたが、今ではラッピングの有無を問わず、みんながきれいに洗車するようになりました。『会社の一体感』を醸成することで、ドライバーの考えが変わってきました」（種子社長）

ヒヤリハット情報を社員間で共有　防衛運転が荷主のブランド力を高める

同社では、年に2回（1月・7月）「ヒヤリハット報告会」を実施している。同報告会では、事故事例をもとに意見交換を行い、「どうすれば事故を未然に防ぐことができるか」をドライバーに考えさせているという。また、月に1度行うミーティングを通じ、安全意識の高揚に努めている。

いま当地で問題になっているのは、高齢者ドライバーによる交通事故が増えていることだという。同社では、事故に繋がりかねないような危険な運転をしている高齢者ドライバーの車を見かけると、まず車のナンバーをチェックしている。同社のトラックにはドライブレコーダが全車に搭載されていることから、ドラレコの画像も確認した上で、このナンバーの車には気をつけるようにと社内の掲示板やミーティングなどで情報共有しているという。危険に繋がる情報を把握し、防衛運転に努めることで、事故を未然に防いでいるのである。

ミーティングなどを通じドライバーの安全意識を高めている

最後に、同社における今後の安全への取り組みについて、種子社長に聞いた。

「ドライバーが事故を起こさないようにしていくためには、まずは社内環境の整備が求められてきます。今後の課題としては、『健康起因事故を防ぐための健康管理』、そして『メンタルヘルス対策』の強化があります。安全輸送を維持していくためにも、そして『荷主のブランド力を高める』ためにも、これからも精いっぱい安全対策に取り組んでいきます」（同）

（取材協力）㈲吉部運送
種子治一代表取締役、波多野覚常務取締役

企業プロフィール

社　　名	㈲吉部運送
本社所在地	山口県萩市大字高佐下851-8
代 表 者	代表取締役　種子　治一
設　　立	平成元年10月5日
資 本 金	500万円
社 員 数	26人（うちドライバー17人）
車 両 数	20台

事故のない安全運転が農産品のブランドを守る

あぶらんど萩農業協同組合（JAあぶらんど萩）　代表理事組合長　水津 俊男氏

水津　俊男
代表理事組合長

JAあぶらんど萩は、平成18年に山口県萩市を拠点に誕生しました。萩市と阿武郡阿武町を所管し、米をはじめとして、大根やトマトなどの野菜、夏ミカンや梨などの果実、また黒毛和牛の子牛の肥育などを手がけています。消費者のニーズを取り入れながら生産を行い、生産量で勝負するのではなく「キラッと光るもの」を生産していきたいと考えています。

吉部運送との付き合いは古く、現在では主に農作物を大阪や九州などの消費者まで輸送する仕事のほか、肥料や農薬などといった農業生産資材を地元農家まで運ぶ仕事をお願いしています。当エリアには約8000戸の農家がありますが、エリアの農家を熟知している同社のドライバーには配達ミスがほとんどありません。さらに、カントリーエレベーター（穀物の貯蔵施設）や育苗センターなどの運営業務を委託するなど、同社とJAあぶらんど萩は、切っても切れない関係にあるといえるでしょう。

27年に、萩の産業遺産群を含む「明治日本の産業革命遺産」が世界遺産に登録されるなど、萩への注目が高まっています。JAあぶらんど萩では同社と協力して、萩市への観光客増加を図るべく、萩市の観光地を車体に装飾したラッピングトラックを制作（写真上）。現在では3台のトラックが、西日本を中心に走行しています。同社のドライバーがラッピングトラックを運転する際には、非常に気を使い、とても大事に乗ってくれています。また、優しい運転がトラックで運んでいる農産物のイメージアップにも繋がり、非常にありがたく感じています。

農産物輸送にあたっては、事故のない安全輸送が強く求められます。萩市を背負って走っているラッピングトラックが危険運転を繰り返したり、事故を起こしてしまうようでは、萩市や萩の農産品にとっては大きなイメージダウンになります。同社はこれまでに一度も事故がなく、また消費者や農家からのクレームもありません。同社が事故のない安全運転を継続することで、萩市や萩の農産品のブランド力がより高まっています。同社には、今後も質の高い輸送を続けていっていただきたいと願っています。

テントなのに、
高品質で堅牢な営業倉庫
「ハイブリッドフレックス」
4つの魅力

明るい空間
採光性の高い膜屋根により、昼間は照明なしでも、作業可能。消費電力を大幅に削減します。

高耐候＆長寿命
屋根材として、高強度膜材を採用することにより、耐久性が格段にアップしました。

軟弱地盤で威力を発揮
軽量鉄骨を使用しているため、地盤を問わず施工可能。杭工事は殆どの場合必要ありません。

防犯性の向上
堅牢なガルバリウム鋼板を外壁に採用。大切な保管品を、盗難被害から守ります。

環境改善貢献企業
Makmax 太陽工業株式会社
http://www.tentsouko.com/

東京本社　〒154-0001 東京都世田谷区池尻2-33-16 tel:03-3714-3317
大阪本社　〒532-0012 大阪市淀川区木川東4-8-4 tel:06-6306-3085
仙台 tel:022-227-1364／さいたま tel:048-667-7651／千葉 tel:043-243-4770
浜松 tel:053-412-2100／名古屋 tel:052-541-5115／広島 tel:082-261-1251
北九州 tel:093-541-3901
一級建築士事務所／特定建設業者大臣許可(特-23)第381号／(一社)日本膜構造協会正会員

全ト協・愛知県ト協
物流経営士研修会を開催

運送業界における若年・女性の活用策について研修を実施

全日本トラック協会と愛知県トラック協会は2月10日、愛知県名古屋市の名鉄ニューグランドホテルで平成28年度物流経営士研修会を開催した。

今回の研修会では、㈱リクルートジョブズ ジョブズリサーチセンター センター長の宇佐川邦子氏による講演（テーマ：「若年・女性を中心とした労働力確保・定着について」）が行われ、その後物流経営士による事例発表として、トヨタライン㈱の齋藤和彦氏が発表を行った。

なお、東京都トラック協会の物流経営士講座修了者を対象とした研修会は、3月13日に開催される。

この研修会は、物流経営士のさらなるスキルアップと、物流経営士同士の受講期を超えた交流を深めることを目的に実施されるもので、今回で4回目の開催。愛知県トラック協会の中部トラック総合研修センターで物流大学校講座を受講して物流経営士の資格認定を受けた、第1期から第23期までの修了生69人が参加した。

研修会では、まず藤原利雄全ト協常務理事があいさつし、その後講演（別掲）と事例発表を実施。

事例発表では、齋藤氏が物流経営士としての同社での取り組みを紹介。同社は父親によって創業され、同氏は2代目として経営に携わっていることから、2代目としての進むべき道について、「時代は変わっており、創業者と同じように取り組んでもうまくいくかは分からない。2代目は創業者と同じ山を登るのではなく、隣にもうひとつ山を作るぐらいの気概で取り組むべき」と語った。

研修会終了後には交流会が行われ、小幡鉦伸愛知県ト協会長が「このような機会を通じて物流経営士同士が交流を深める中で刺激し合い、前向きに物事を考え、そして学ばれたことを今後の業務の中で活かしていただきたい」とあいさつ。参加者たちは積極的に情報交換などを行った。

物流経営士69人が参加し、講演に熱心に耳を傾けた（2月10日、名鉄ニューグランドホテル）

小幡 鉦伸
愛知県ト協会長

齋藤和彦
トヨタライン㈱代表取締役社長

講演
「若年・女性を中心とした労働力確保・定着について」

株式会社リクルートジョブズ　ジョブズリサーチセンター　センター長　宇佐川 邦子氏

宇佐川 邦子氏

▽潜在労働力の高い「女性ミドル層」「若年層」

全国、全業種において人材不足に陥っている状況下で人材を獲得するためには、まず自己（業界と企業）を知り、採用競合となる他業界を知り、そして働く人を正しく知ってから募集活動を行うことが何よりも大事です。

20代中頃から50代前半までのミドル層では、男性では就業率が9割以上に達していますが、女性では7割にも満たないのです。もっと女性ミドル層（主婦）に目を向けて、新たな労働力として活用していくことが、運送業界における労働力確保には欠かせません。

また、10代から20代前半にかけての若年層で、失業率が高い傾向がみられます。若年層の採用を強化することも有効ではないでしょうか。

▽ターゲットに合わせて職場環境を改善

新たな戦力としての活躍が期待される女性ミドル層や若年層の獲得に際しては、まずターゲットとする層が求めている労働条件・職場環境・キャリアパスを把握し、それに合わせた施策を行う必要があります。

今後の仕事を探す際に重視するものを聞くと、全体的に「勤務地」「勤務日数」が高く、それに加えて、女性ミドル層では「長く働けること」「安心して働けること」が職場で重視するものの上位に入ってきます。また、若年層では「仕事へのやりがい」や「安定」を重視する人が多くみられ、仕事を探す際には「教育制度の充実」「福利厚生」を重視しています。

女性ミドル層・若年層の採用に際して、運送会社が対応可能な具体的な対策事例としては、表のようなことが考えられると思います。

▽業界のイメージ・魅力を高め応募増に繋げる

運送会社において、求人応募数を高めるためには、まずドライバーという職業の認知度向上や、「ドライバーという仕事が自分の仕事になり得るのかどうか」の判断材料となる情報の周知が必要です。

また、運送業界未経験者にとっては、ドライバーは「体力的にきつい仕事が多い」というイメージを持っている一方で、「社会のためになる」「人から感謝される」と思っている人も多くみられます。

「体力的にきつい仕事が多い」という未経験者の心理的ハードルを低くし、ドライバーという仕事への興味・関心を上げていくことも大切です。

トラック運送業界のイメージを向上させること、そして長く働き続けられる職場環境を整備するなど運送業界の魅力をアップさせることで、さらに良い採用に繋がります。

採用ターゲットを変える
ターゲットにあわせ施策を導入する
▼

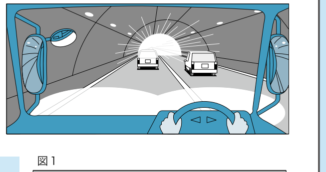
女性ミドル層（主婦）	働きやすさ	職場環境
	労働時間の改善 ・短時間勤務制度の導入 働きやすさ、風通しの良さ改善 ・上司・同僚とのコミュニケーション施策 環境整備 ・女性ミドル層のための職場環境整備 身体的な業務負荷の軽減 ・荷積み、荷卸し作業の負荷軽減 ・長時間拘束の短縮検討	
若年層	育成	キャリアパス
	教育制度の改善 ・キャリアアップ、面談、フォロー、教育支援制度 評価制度の改善 ・昇格基準設定（社員登用制度等）	

しんちゃん 【第22回】 前川しんすけ

（2面）危険予知訓練（KYT）シートの解説

▶交通事故防止編

3月初旬の昼間、あなたは高速道路のトンネル内を走行しています。前方には乗用車が走行しています。出口が見えてきました。この場面にはどのような危険がありますか。また、危険を避けるためにはどのような運転をすればよいでしょうか。考えてみましょう。



どのような危険がありますか？

①トンネルの出口付近で前車が減速をすると、追突する危険があります（図1）。
②トンネルの出口が凍結しているとスリップしたり、突風が吹いているとハンドルをとられて走行安定性を失い、側壁やガードレールなどに衝突したり横転する危険があります（図2）。

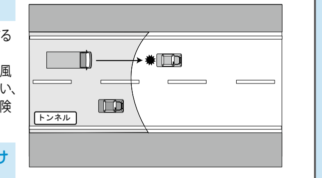
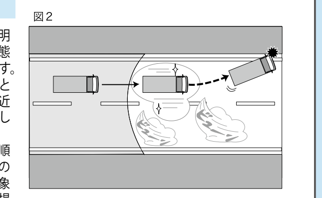
図1


図2


どのような運転をすれば危険を避けることができますか？

①昼間、暗いトンネルから明るい外に出る時、目が明るさに順応できずに、一瞬何も見えないような状態になるため、出口付近で減速する車もよくあります。そのような時に車間距離を十分にとっていないと追突する危険がありますから、トンネルの出口に近付いた時は、意識して車間距離を長くとるようにしましょう。
※暗い場所から明るい場所に出る時、目が明るさに順応できず、一瞬何も見えないような状態になり、その後次第に目が光に慣れてきて見えるようになる現象を「明順応」といい、その逆に明るい場所から暗い場所に入った時に起こる同じような現象を「暗順応」といいます。これは視力の良しあしにかかわらず、誰にでも起こる現象ですから注意しましょう。

②トンネルの出口は、強風や突風が吹きやすい場所といわれています。「交通の教則」においても、「第7章高速道路での走行」の中で、「トンネルや切り通しの出口などでは、横風のためにハンドルを取られることがあるので注意する」ことが記されています。特に3月は強風が吹きやすい時期ですから、車体が高く風の影響を受けやすいトラックは、十分な注意が必要です。また、トンネルの入口や出口は凍結しやすい場所でもあります。3月に入ったとはいえ、山間部や寒冷地のトンネルの出口では路面が凍結している恐れもありますから、その点への注意も怠らないようにしましょう。

③トンネルの出口が見えても、かなり接近しなければ出口の状況は把握できません。しかも、トンネルの入口と出口では気象状況が変わっていることもよくあります。したがって、入口では晴れていて風も穏やかだったから、出口も同じだろうと考えて漫然と走行するのは危険です。出口では気象状況などが変化しているかもしれないと考えて、早めの状況把握に努めるなど、慎重な運転を心がけましょう。

☞この角を基準に拡大率を235%に設定すると、A4サイズでプリントできます。

法令〇×（マルバツ）クイズ

～規制標識編～
【解答】2面に問題

❶ ×（標識令327の6）この標識は、牽引自動車の自動車専用道路における第一通行帯通行指定区間を示すものであり、高速自動車国道における通行区分を示すものではない。

❷ ×（標識令327の2）この標識は、大型貨物自動車等の通行区分を示すものだが、高速自動車国道だけに限定されているものではない。

❸ 〇（標識令325）この標識は、自動車専用を示すもので、この標識のある道路は、高速自動車国道又は自動車専用道路であることを示している。

❹ ×（標識令407のB）この標識は、横断歩道があることを示している。

❺ 〇（標識令408）この標識は、安全地帯であることを示しており、車は通行できない。

食の新旧街道を行く
—俯瞰食文化学の視点から—

フードジャーナリスト、食文化研究家　向笠 千恵子

102「冬野菜の道②」雪と水で育つ「勝山水菜」

ビタミンCは人の暮らしに欠かせない。それだけに、雪国では冬でも何とか野菜を食べようと、漬け物をたくさん用意する。しかし、春も間近になると、それも食べ尽くしてしまい、「一日も早く生鮮野菜を食べたい」と誰もが渇望し始める。

幸い、豪雪地帯の福井県勝山市には、そんなときに旬を迎える「勝山水菜」がある。京野菜系の水菜とは別種で、菜種に近い葉菜だ。見た目はアブラナそっくり。

ランドマークの勝山城近くで、雪に覆われた水田にかまぼこ型のトンネルを見かけたら、それが勝山水菜の畑だ。近寄ってみると、畝と畝の間の溝に水が流れている。この溝は雪を溶かすためのものだ。また、トンネルの上に積もった雪を手で払いのけて溝に落とすと、これもすぐに溶ける。

おかげで、水菜は清冽な水をたっぷり吸って、花茎をぐんぐん伸ばしていく。気温が低いほうが『寒締め』効果があるので、地元では「雪が積もれば積もるほど甘味が増す」と喜ぶ。害虫のいない季節だから、農薬が必要ないのもうれしい。

収穫は2月後半から。花茎は緑色が濃くて、かなり太いけれど、茹でるとすぐに軟らかくなり、甘味が出てくるから、おひたしにするのがいちばん簡単でおいしい食べかただ。

農家では「水菜がとれ始めたら、もうスーパーの野菜は買いません。毎日水菜を食べてもちっとも飽きない」と、雪に埋もれたトンネルに温かいまなざしをそそぐ。

勝山に本当の春が来るのは、2月末の「勝山左義長まつり」の日。左義長とは本来は小正月の火祭りだが、勝山では盛大なお囃子のほか、絵行灯、作り物、押し絵、短冊などで町中が盛り上がる。そして、水菜のおいしさが誰からも喝采を浴びるのもこの日なのである。（むかさ・ちえこ）

おもしろ輸送

モノはこうして運ばれる

第20回 雪輸送

新潟県十日町市　株式会社村山興業

「除雪」と「排雪」で雪から街を守る

雪輸送を通じ「雪まつり」にも協力

雪が積もると、安全で円滑な道路交通を確保するために、除雪作業が実施される。除雪作業が滞ってしまうと、道路交通のみならず住民の日常生活にとっても大きな障害となってしまうため、安全で素早い作業の実施が求められることになる。

今回は、新潟県中越地方の内陸部、有数の豪雪地帯としても知られる十日町市に本社を構える株式会社村山興業（村山広幸代表取締役）を訪ね、同社における除雪作業を追った。

特別豪雪地帯の十日町市　3か月にわたる雪との戦い

新潟県十日町市は、豪雪地帯対策特別措置法によって「特別豪雪地帯」に指定されている。十日町市では、例年11月20日頃に初雪を迎える。晩秋のうちは、雪が降っても溶けてしまうため除雪の必要はないが、12月半ばぐらいになると降った雪が溶けずに根雪として残るようになる。その頃になると、市内各所で除雪作業がみられるようになる。

㈱村山興業は、雪のない時期には建設機械・資材運搬や廃棄物収集運搬、重機による土工事などを行っているが、12月から2月までは市内における除雪作業を担っている。同社では同作業を行うため、雪を砕いて遠くへ飛ばすことのできるロータリー除雪車や、交差点や生活道路などの除雪に使われる除雪ドーザー、また路上に固く凍りついた雪でも削り取ることのできる除雪グレーダーなどを保有し、冬季作業に備えている。

作業の中身としては「除雪」と「排雪」の2つに分けることができる。除雪とは、道路に積もった雪を路肩に寄せたり、近場に用意された雪置き場に運ぶ作業である。一方で排雪は、道の路肩や雪置き場にたまった雪をダンプトラックに積み込み、川原などの邪魔にならない場所（雪捨て場）に移すことである。つまり、除雪の段階ではまだその場所や近くの場所に雪が残存しており、定期的に排雪を行わなければ雪がその場所にたまり続けてしまう。

除雪と排雪がともに効果的に行われることで、豪雪地帯であっても道路交通が麻痺することなく、また雪国に暮らす市民の日常生活も守られるのである。

ロータリー車で雪を跳ね上げ　ダンプ車で雪捨て場に運ぶ

除雪作業は、基本的には交通量の少ない深夜から朝の通勤・通学時間までの間に行われる。目安として、雪が10～15㌢以上降った時に自治体から出動要請があり、それに従事する社員は、深夜1時半に集合し、2時半頃から除雪作業を実施。車道に積もった雪は除雪ドーザーで路肩に寄せるほか、歩道に積もった雪は小型除雪機を使って道の脇に積み上げ、歩道を確保する。道幅が狭く路肩に雪を寄せるスペースのない生活道路では、各所に設けられた雪置き場に雪を集める。通常なら朝7時頃までに除雪作業を終えるが、降雪量が多くなると朝のラッシュ後などにも除雪を行うことがあるそうだ。

一方、排雪作業は、ドカ雪の際には夜間や早朝に行われることもあるものの、基本的には明るいうちでの作業となる。

除雪作業によって道路脇にうず高く積み上がった雪は、ロータリー車によって跳ね上げられて、ダンプ車の荷台に積まれていく。ロータリー車は少しずつ前進しながら雪を跳ね上げていくため、ダンプ車も同じように少しずつ前進し、荷台で雪を受け止める。ロータリー車からクラクションが1回鳴らされると、ダンプ車はそれを合図にさらに前進する。これは、荷台に雪を均一に積み込むためのものだ。これらの作業を行っている際にも、対向車線では交互通行で車が通っているため、作業にあたっては、これらの車の動きにも気を配る必要がある。荷台いっぱいに雪が積載されると、ロータリー車からクラクションが2回鳴らされる。これが積み込み終了の合図で、雪を積んだダンプ車は雪捨て場に向けて走り去っていく。

また、住宅地の雪置き場に積まれた雪は、ショベルカーを使ってダンプ車の荷台に積載され、同じように雪捨て場へと運ばれていく。

市内を流れる信濃川の河原に設けられた雪捨て場には、市内各所からダンプ車が集まってくる。ダンプ車の行列ができることもあるそうだ。

視界を奪う「雪の壁」に要注意　安全を確保しながら素早く作業

除雪・排雪作業における注意ポイントについて尋ねると、まず「雪の壁」に細心の注意を払っているという。排雪前には、除雪作業で路肩に寄せられた雪がうず高く積み上がっている。この雪の壁は視界を奪い、壁の向こう側は何も見えない。細い交差点や商業施設の駐車場などから作業を行っている道に入ってくる車もいるが、雪の壁が視界を阻んでいるため、安全に発進できるかどうかの確認が難しくなる。結果として、雪の壁の向こうから突然車が現れ、出合い頭の衝突事故になりかねないのである。

また、雪の壁があるせいで、雪のない時期に比べると車の通行できる幅が狭くなり、車のすれ違いが困難になっている場合もある。そのため、ダンプ車を運転するドライバーは、所定の場所でダンプアップして雪を次々に捨てていき、雪を積むために再び戻っていく。積雪量が多くなると雪捨て場に行く回数も増え、雪捨て場前には「雪捨て待ち」のダンプ車の行列ができることもあるそうだ。

豪雪地帯の住民にとっては、降りやまない雪は悩みのタネである。しかし、大量の雪をうまく活用することで、全国各地から観光客を呼び込み、街の活気を創出することもできる。同社は、雪の輸送を通じて地域に大きく貢献しているといえよう。

（取材協力）㈱村山興業
村山広幸代表取締役、空撮事業部 俵山 哲氏

冬の風物詩「十日町雪まつり」　会場にきれいな雪を運び込む

十日町市では毎年「十日町雪まつり」が市内各所の会場で開催される。同社では、雪まつりの会場設営に使われる雪の輸送にも携わっている。

今年の雪まつりは2月17日～19日に開催されたが、雪まつりに向けての準備は1か月ほど前から始まった。会場には雪で造られたステージのほか、雪像や雪でできた大きな滑り台なども造られる。先に紹介した除雪・排雪作業で発生するような汚れた雪では、真っ白な雪像を造ることはできない。そこで、材料となるようなきれいな雪を会場に運び入れる必要がある。

市街地から少し離れたところにある十日町市総合公園は、冬の間は積雪のため閉鎖されている。人が踏み入れていない公園に積もったきれいな雪をダンプ車に積載し、街中にある会場まで輸送する。運ばれた雪は、会場内で雪像などの材料として使われる。

村山社長にここが聞きたい！

村山広幸代表取締役

当社では、8月と12月に「安全会議」を実施しています。除雪・排雪作業の期間になると、社員全員が顔を合わせるという機会が少なくなるため、ヒヤリハット情報の共有などに苦労する面もありますが、無線連絡などを活用して注意を促すようにしています。

また、当地は豪雪地帯であるため、降雪量が増えて毎日の作業が忙しくなった際には、社員の疲労の蓄積具合に特に気を配るようにしています。仕事に送り出す際には社員の顔色や態度などをチェックし、体力的にも精神的にも過労状態にないか確認するようにしています。

雪が降る中、ロータリー車が道路脇の雪を跳ね上げてダンプ車の荷台に積載していく

排雪作業の流れ

①歩道に積もった雪を小型除雪機で路肩に寄せる

②ロータリー車によって30秒ほどで雪が満載される

③生活道路から発生した雪の置き場に、ショベルカーで雪が積まれる

④積んできた雪は河原などの雪捨て場に運ばれる

会社概要
㈱村山興業

本　社	新潟県十日町市北新田132
設　立	昭和50年5月
資本金	1,000万円
従業員数	35人（うちドライバー15人）
車両数	17台

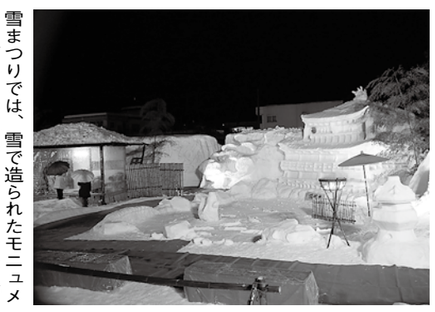
雪まつり会場への雪輸送の流れ

❶雪の搬出地となった十日町市総合公園にロータリー車が到着。積雪は1㍍強

❷ロータリー車が雪の塊を次々に崩し、ダンプ車の荷台に跳ね上げる

❸雪まつり会場前の道路でダンプアップして、きれいな雪を下ろす

❹下ろされた雪はロータリー車によって会場へと飛ばされる



雪まつりでは、雪で造られたモニュメントが多くの来場者を楽しませた（写真提供＝十日町市企画政策課）

こちら広報室　四季折々 110

2017・3・1

▼窓から射す光の量が、少しづつ増えてきています。それは「光の春」です。他方、光の量を「畳の目一つづつ春の日射しが長くなる」との表現もあり、日本独特の繊細な言葉の美しさを感じます。▼文字通り「立春」を過ぎて、日射しの脚も少しづつ長くなってきたと実感します。寒さはまだまだ続きますが、着実に近付いている春の足音を感じます。▼鳥達も季節と呼応するように変声した囀りで、求愛活動や縄張り宣言に励み、春を呼び込みます。見ていると、この時期の鳥達は、自由闊達に動き回り自分自身を高く見せ、必死に売り込んでいるかのようです。▼鳥達も、人間と同様に生きていくのは至難の技のようです。健気なその気持ちお察しいたします。▼動物が冬眠から目覚めるのも、植物が芽吹き花を咲かせるのも、それは気温の上昇より光の強さが大きく左右するというのは、自然の摂理なのでしょう。「快晴」「曇天」「慈雨」「濃霧」「綿雪」など自然がもたらす光景は、変化に溢れ、「素晴らしい」の一言です。▼その鳥達ですが、自宅から最寄り駅に行くまでに、近道して小川の土手を通ると、そこには仕草が可愛いカルガモ、微動だにしないシロサギ、いつも集団のスズメ、つがいのキジバト、白色の尻尾を上下に振るハクセキレイ、緑色のジャケットを着たメジロ、いつも臆病なカワウと、日替わりでたくさんの鳥達に出会うことができます。時には、清流の「青い宝石」と呼称される綺麗なカワセミに出くわすこともあります。▼少し前に、久し振りにモグラに遭遇してびっくりしました。目が退化したモグラは嗅覚のみで前進し、軟らかい田畑の土に潜っていきました。地中を鋭い両手で掻き続けるため体力を消耗して、12時間以上食べ続けないと死んでしまうというモグラ。そのモグラは、我が身と同じくプクプクと肥満体で、身につまされた瞬間でした。▼そういえば、毎朝必ず鳥達に餌まきをしている年配の女性がいます。聞くと「以前家で生き物を飼っていたが、死んでとても悲しい思いをしたのでそれ以来、生き物は飼わないことにした」と。でも、自然の中で「健気に生きる生き物には愛着がある」とのことでした。▼もう少しすれば小川の両サイドは、土筆が顔を出し、菜の花が咲き乱れます。厳しい冬場を乗り越えてこその感動です。日本の四季に繰り広げられる自然と動物の様々な世界は、得難い貴重な財産です。光の春は日ごとに長くなってきます！

（山崎 薫）

免許の種類と運転可能な車両区分

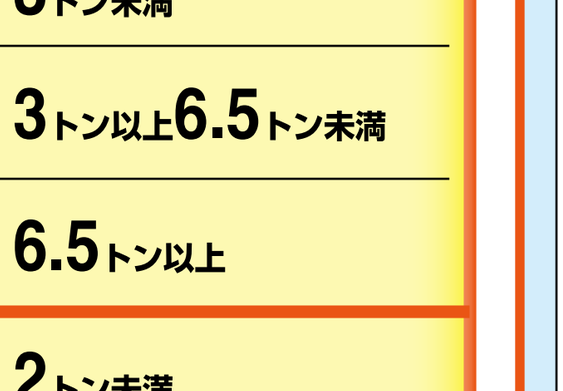
18歳から取得可能な準中型自動車免許を新設

改　正　平成29年3月12日施行

車両総重量　3.5トン　7.5トン　11トン

- 普通自動車 **普通免許** 18歳以上
- 準中型自動車 **準中型免許** 18歳以上
- 中型自動車 **中型免許** 20歳以上 普通免許等保有通算2年以上
- 大型自動車 **大型免許** 21歳以上 普通免許等保有通算3年以上

ドライバーの 運転可能な車両区分を確認しよう！



免許取得時期	免許の種類	車両総重量	最大積載量
平成19年6月1日まで	普　通（現在は「8トン限定中型免許」）	8トン未満	5トン未満
	大　型	8トン以上	5トン以上
平成19年6月2日～平成29年3月11日まで	普　通（平成19年6月2日から平成29年3月11日までの間に普通免許を取得した場合は「5トン限定準中型免許」）	5トン未満	3トン未満
	中　型	5トン以上11トン未満	3トン以上6.5トン未満
	大　型	11トン以上	6.5トン以上
平成29年3月12日以降	普　通	3.5トン未満	2トン未満
	準中型	3.5トン以上7.5トン未満	2トン以上4.5トン未満
	中　型	7.5トン以上11トン未満	4.5トン以上6.5トン未満
	大　型	11トン以上	6.5トン以上

公益社団法人 全日本トラック協会　全国貨物自動車運送適正化事業実施機関